

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミクニ

コード番号 7247 URL <http://www.mikuni.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 生田 久貴

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画・管理本部 部長 (氏名) 金田 光司

TEL 03-3833-0392

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	40,184	0.7	792	△46.7	425	△47.2	10	△95.6
24年3月期第2四半期	39,900	0.4	1,486	1.5	806	△27.4	249	△64.4

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △442百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 33百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.32	—
24年3月期第2四半期	7.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	75,303	15,274	17.8	396.53
24年3月期	79,087	15,887	17.6	411.78

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 13,438百万円 24年3月期 13,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	△3.6	1,800	△30.8	1,000	△52.4	800	△52.9	23.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	34,049,423 株	24年3月期	34,049,423 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	158,091 株	24年3月期	154,356 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	33,892,994 株	24年3月期2Q	33,897,633 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年5月14日に公表しました平成25年3月期の業績予想を平成24年11月8日に修正を行っております。詳細につきましては、同日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定であります。
3. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(4) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報等 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済情勢につきましては、東日本大震災後の復興需要やエコカー補助金効果による自動車需要の喚起など、景気回復の兆しがみられた一方で、円高の長期化、株価の低迷、欧州債務問題に起因する欧州経済の混乱などに加え、景気の減速感が新興国へ波及するなど、世界経済の不確実性が高まる状況で推移しました。

このような経営環境のなかでの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、国内におけるエコカー補助金効果による需要の喚起などもありましたが、昨年のタイ現地法人での洪水被害、その復旧過程での混乱の影響に加え、円高の長期化、当四半期後半になっての中国・アセアン地域における需要が鈍化する傾向のなかで売上高は、401億8千4百万円（前年同期比0.7%増）となりました。損益につきましては、諸経費の抑制や生産効率向上などの諸施策を推し進めるなか、主に欧州向け需要の低迷、洪水被害による異常操業や代替生産にかかるコスト、新興国における需要の鈍化及び賃金の上昇などの要因により、7億9千2百万円の営業利益（前年同期比46.7%減）、4億2千5百万円の経常利益（前年同期比47.2%減）、1千万円の四半期純利益（前年同期比95.6%減）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、従来「営業外収益」に区分掲記していた科目につきましては、表示方法の変更を行っておりますので、当第2四半期決算短信において表示されている過年度の営業利益につきましても遡及処理を行っております。

セグメントの業績は以下の通りであります。

**【自動車関連品事業】**

四輪車・二輪車・汎用エンジン用燃料供給装置類やエンジン関連機能部品類の製造販売を中心とする当事業の売上高は、前年同期に比べて、四輪車用製品の国内向けにつきましては、昨年は東日本大震災によるサプライチェーンの混乱による減産の影響を受けたことに対して、当第2四半期連結累計期間においてはエコカー減税や補助金効果もあり増加しました。二輪車・特機用製品につきましては、船外機用製品は増加しましたが、大型二輪車市場は北米向けが若干回復傾向にあるものの、欧州向けは引き続き低迷が続き、さらに小型二輪車につきましても、主に中国・アセアン地域での減少が影響した結果、全体では減少となりました。汎用エンジン用製品につきましては増加しました。

その結果、当事業の売上高は、282億3百万円（前年同期比0.2%減）となり、営業損益につきましては、7億5千2百万円（前年同期比42.8%減）の営業利益となりました。

**【生活機器関連品事業】**

ガス機器用制御機器類の売上高は、前年同期に比べて、国内では価格競争が激化しているなどの影響を受け減少しました。中国では景気の減速、不動産需要の低迷による在庫調整などの影響を受け、需要が回復するまでにはいたりませんでした。さらに、欧州向けにつきましては、景気が低迷していることなどの影響により減少しました。

その結果、当事業の売上高は、27億9千6百万円（前年同期比4.9%減）となり、営業損益につきましては、4千1百万円（前年同期は5千7百万円の営業利益）の営業損失となりました。

## 【航空機部品輸入販売事業】

航空機部品類の売上高は、前年同期に比べて、民間の航空機需要が堅調に推移したことなどにより増加しましたが、損益面では、商品構成において民間の航空機部品は価格競争が厳しいことに加え、販売契約が主に米ドル建となっていることから、引き続き円高による為替の影響を受けました。

その結果、当事業の売上高は、57億5千6百万円（前年同期比0.4%増）となりましたが、営業損益につきましては、3百万円（前年同期比92.8%減）の営業利益となりました。

## 【その他事業】

芝管理機械等の輸入販売、車輛用暖房器類、加湿器・介護機器等の製造販売を中心とする当事業の売上高は、前年同期に比べて、芝管理機械につきましては、ゴルフ場の設備投資が昨年の震災後から徐々に回復したことなどにより増加しました。車輛用暖房器類につきましては、バス向けの需要がありましたが、欧州市場の在庫調整などの影響を受け減少しました。加湿器類につきましては、業務用エアコン用は、昨年の震災後の復興需要が一巡した環境下で、官庁向け需要により前年同期並みとなりました。コンシューマ向け加湿器につきましては、第1四半期に引き続きシーズンオフのため低迷する一方、空気洗浄機は堅調に売上を伸ばしました。介護機器につきましては前年同期並みでありました。

その結果、当事業の売上高は、34億2千7百万円（前年同期比15.6%増）となり、営業損益につきましては、7千7百万円（前年同期比16.4%増）の営業利益となりました。

## 【事業の種類別業績 比較表】

(単位：百万円)

	平成24年3月期 第2四半期連結累計期間		平成25年3月期 第2四半期連結累計期間		売上高の増減		営業利益の増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	金額	比率	金額	比率
自動車関連品事業	28,262	1,315	28,203	752	△59	△0.2%	△562	△42.8%
生活機器関連品事業	2,942	57	2,796	△41	△145	△4.9%	△99	—
航空機部品輸入販売事業	5,731	46	5,756	3	25	0.4%	△43	△92.8%
その他事業	2,964	66	3,427	77	463	15.6%	10	16.4%
合計	39,900	1,486	40,184	792	283	0.7%	△694	△46.7%
ご参考 外貨換算レート	1米ドル=82.01円		1米ドル=79.77円		—		—	

(注) 1. 営業利益欄の△は営業損失を示します。

2. 表中の数値は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 【ご参考】平成23年3月期第1四半期～当第2四半期までの四半期毎の業績推移

(単位：百万円)

		平成23年3月期				平成24年3月期				平成25年3月期	
		第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2
自動車関連品事業	売上高	13,877	14,740	14,111	14,213	13,201	15,061	15,459	15,057	14,307	13,895
	営業利益	718	669	718	371	609	706	729	440	621	131
生活機器関連品事業	売上高	1,293	1,651	1,560	1,312	1,428	1,513	1,597	1,446	1,293	1,502
	営業利益	45	18	88	△6	30	27	5	△39	△35	△6
航空機部品 輸入販売事業	売上高	2,433	2,463	3,030	2,615	2,937	2,793	3,042	3,264	3,010	2,746
	営業利益	△12	△2	0	31	70	△23	21	13	11	△8
その他事業	売上高	1,952	1,348	1,441	1,717	1,591	1,372	1,334	1,600	1,596	1,830
	営業利益	88	△60	78	100	71	△4	15	17	29	48
合計	売上高	19,556	20,203	20,143	19,858	19,159	20,741	21,434	21,369	20,208	19,976
	営業利益	839	624	885	496	781	705	771	431	627	164

(注) 1. 営業利益欄の△は営業損失を示します。

2. 表中の数値は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、753億3百万円となり、前連結会計年度末に比べて37億8千3百万円減少しました。

流動資産は、358億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べて43億1千9百万円減少しました。これは主として、現金及び預金が15億7千6百万円、受取手形及び売掛金が16億5千7百万円減少したことによるものであります。また、前連結会計年度末に計上しましたタイの大洪水による未収受取保険金が入金され、その他流動資産が21億2千2百万円減少しました。

固定資産は、394億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億3千5百万円増加しました。これは主として、機械装置及び運搬具が3億5千9百万円、建設仮勘定が5億5千万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、600億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べて31億7千1百万円減少しました。

流動負債は、434億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億2千8百万円減少しました。これは主として、支払手形及び買掛金が7億3千1百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、165億3千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億4千2百万円減少しました。これは主として、長期借入金が14億9千4百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は152億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億1千2百万円減少しました。これは主として、その他有価証券評価差額金が3億5千7百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に公表しました平成25年3月期の業績予想を平成24年11月8日に修正を行っております。詳細につきましては、同日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結累計期間において、「営業外収益」に区分掲記していた「スクラップ売却益」は、主に原材料の売却額であり、今後継続して発生すると見込まれるため、第1四半期連結累計期間より、「売上原価」から控除する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「スクラップ売却益」に表示していた69百万円は、「売上原価」から控除しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,510	5,933
受取手形及び売掛金	17,339	15,682
商品及び製品	5,943	6,232
仕掛品	2,695	2,948
原材料及び貯蔵品	1,511	1,995
その他	5,236	3,114
貸倒引当金	△60	△49
流動資産合計	40,176	35,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,330	9,089
機械装置及び運搬具(純額)	6,775	7,135
工具、器具及び備品(純額)	1,557	1,813
土地	12,763	12,761
建設仮勘定	1,764	2,315
有形固定資産合計	32,191	33,115
無形固定資産		
のれん	70	36
その他	456	467
無形固定資産合計	526	504
投資その他の資産	6,192	5,826
固定資産合計	38,910	39,446
資産合計	79,087	75,303
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,886	11,155
短期借入金	21,988	22,740
1年内返済予定の長期借入金	4,845	4,130
未払法人税等	159	92
賞与引当金	1,126	966
災害損失引当金	194	—
その他	5,220	4,407
流動負債合計	45,421	43,493
固定負債		
長期借入金	9,132	7,637
退職給付引当金	4,663	4,739
その他	3,983	4,158
固定負債合計	17,778	16,535
負債合計	63,200	60,028

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,215	2,215
資本剰余金	1,700	1,700
利益剰余金	7,020	6,861
自己株式	△45	△46
株主資本合計	10,889	10,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	828	471
繰延ヘッジ損益	2	△2
土地再評価差額金	4,910	4,910
為替換算調整勘定	△2,674	△2,671
その他の包括利益累計額合計	3,067	2,708
少数株主持分	1,929	1,836
純資産合計	15,887	15,274
負債純資産合計	79,087	75,303

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	39,900	40,184
売上原価	34,125	34,820
売上総利益	5,775	5,364
販売費及び一般管理費	4,288	4,572
営業利益	1,486	792
営業外収益		
受取利息	36	18
受取配当金	34	33
持分法による投資利益	—	6
受取賃貸料	106	82
その他	89	63
営業外収益合計	267	204
営業外費用		
支払利息	204	220
持分法による投資損失	21	—
退職給付会計基準変更時差異の処理額	97	97
為替差損	485	139
その他	137	113
営業外費用合計	947	571
経常利益	806	425
特別利益		
固定資産売却益	4	10
特別利益合計	4	10
特別損失		
投資有価証券評価損	—	31
固定資産除売却損	11	18
災害による損失	47	—
その他	4	15
特別損失合計	63	64
税金等調整前四半期純利益	746	371
法人税等	412	482
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	334	△111
少数株主利益又は少数株主損失(△)	85	△122
四半期純利益	249	10

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	334	△111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△141	△357
繰延ヘッジ損益	20	△5
為替換算調整勘定	△188	29
持分法適用会社に対する持分相当額	8	2
その他の包括利益合計	△301	△330
四半期包括利益	33	△442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17	△348
少数株主に係る四半期包括利益	51	△93

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	746	371
減価償却費	1,787	1,606
のれん償却額	33	33
災害損失	47	—
持分法による投資損益(△は益)	21	△6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	66	76
賞与引当金の増減額(△は減少)	△215	△160
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△12
受取利息及び受取配当金	△71	△51
支払利息	204	220
為替差損益(△は益)	△40	24
投資有価証券評価損益(△は益)	—	31
固定資産除売却損益(△は益)	7	7
売上債権の増減額(△は増加)	△291	1,704
未収入金の増減額(△は増加)	△126	△314
たな卸資産の増減額(△は増加)	△64	△950
前渡金の増減額(△は増加)	19	△74
仕入債務の増減額(△は減少)	△672	△681
未払金の増減額(△は減少)	4	301
その他	△379	△496
小計	1,080	1,631
利息及び配当金の受取額	41	67
利息の支払額	△205	△221
保険金の受取額	—	2,276
災害損失の支払額	△24	△225
法人税等の支払額	△474	△376
営業活動によるキャッシュ・フロー	418	3,152
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△25	—
定期預金の払戻による収入	75	25
貸付けによる支出	△38	△6
貸付金の回収による収入	6	8
投資有価証券の取得による支出	△0	△3
有形固定資産の取得による支出	△1,808	△3,279
有形固定資産の売却による収入	388	410
無形固定資産の取得による支出	△26	△55
その他	△12	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,439	△2,889

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,666	997
短期借入金の返済による支出	△416	△280
長期借入れによる収入	—	352
長期借入金の返済による支出	△2,557	△2,546
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△169	△168
少数株主への配当金の支払額	△80	—
その他	△215	△216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,774	△1,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,821	△1,552
現金及び現金同等物の期首残高	7,981	7,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,160	5,933

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連品	生活機器 関連品	航空機部品 輸入販売	計				
売上高								
外部顧客への売上高	28,262	2,942	5,731	36,936	2,964	39,900	—	39,900
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	28,262	2,942	5,731	36,936	2,964	39,900	—	39,900
セグメント利益	1,315	57	46	1,419	66	1,486	—	1,486

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、芝管理機械等の販売事業、車輛用暖房器の製造販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連品	生活機器 関連品	航空機部品 輸入販売	計				
売上高								
外部顧客への売上高	28,203	2,796	5,756	36,757	3,427	40,184	—	40,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	28,203	2,796	5,756	36,757	3,427	40,184	—	40,184
セグメント利益 又は損失(△)	752	△41	3	714	77	792	—	792

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、芝管理機械等の販売事業、車輛用暖房器の製造販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。